

課題対応取組み報告書

【共通】

名称	西淀川区地域包括支援センター
提出日	令和6年6月26日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	<input type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等 <input type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 社会資源の創設 (居場所づくり等) <input checked="" type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり等
活動テーマ	「若いうちからの老後への備え」の推進	
地域ケア会議から 見えてきた課題	1.元気なうちから、フレイル予防に関心を持ち、取り組むことが必要である。 2.高齢期に生じる困りごとに対し、老後を見据えた心構え、備えが必要である。 3.若いうちから、地域とのつながりをつくり、孤立を防ぐことが重要である。	
対象	地域住民、高齢者やその家族	
地域特性	工業地帯として発展してきた歴史があるが、工場の廃業とともにマンションが新たに建設され、校区によっては若い世代が増加している。	
活動目標	1.できる限り元気で自立した自分でのためのフレイル予防方法を知り、取り組む。 2.支援が必要となったときに必要となることを準備しておく。 3.家族や友人、地域の方とのつながりをつくっておく。	
活動内容 (具体的取組み)	1.7/14,2/15に作業部会を開催し、適宜生活支援体制コーディネーターにも助言を求めると一緒にアンケートの内容について検討を進めた。3/7の4事業会議（西淀川区保健福祉課、在宅医療・介護連携相談支援室、社会福祉協議会体制整備事業、西淀川区南西部地域包括支援センター）にてアンケート調査のプレ実施の結果を報告し、アンケートの内容について意見交換することができた。 2.アンケート調査を実施した。11/28実施「西淀川区健康いきいき展」（139件）、12/5実施アイビー・ハイツ野里（21件）、1/11実施「ひまわりの会」（家族介護者の会）（4件）、1/12実施「さくらんぼの会」（認知症の当事者と家族と一緒に集う場）（2件）、1/18実施「ひょうたんの会」（男性介護者の会）（2件）	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	1.4事業会議（西淀川区保健福祉課、在宅医療・介護連携相談支援室、社会福祉協議会体制整備事業、西淀川区南西部地域包括支援センター）の場で議論を重ね、アンケート内容の改善、QRコードの掲載などに至った。また、アンケート調査の実施機会について協力体制を構築できた。 2.アンケート回答総数が168件。そのうち40～64歳の回答総数は39件。	
今後の課題	1.高齢者自身が、家族や知人等といざという時のためのつながりをつれていない住民が多い。また、現状を正しく理解し、将来への見通しを立てることができていない住民もいる。 2.アンケート用紙の設問等の内容は決定したが、表現やフォント含めレイアウトが固まっていない。手に取ってもらいやすいよう、簡潔な表現やイラストなど視覚的な視点からもアンケート用紙を完成させていく必要がある。	

※以下は、区運営協議会事務局にて記入

区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和6年7月25日 (月)	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続性 <input checked="" type="checkbox"/> 浸透性・拡張性 <input checked="" type="checkbox"/> 専門性 <input checked="" type="checkbox"/> 独自性	
評価できる項目 (特性) についてのコメント	地域課題から「若いうちから老後の備え」の必要性を感じ、実態の把握を行うためのアンケートを行っているところであるが、アンケートの方法や内容について包括が中心となって多機関連携会議で検討を重ね、より実態に合った支援に向けて取り組んでいる。 また、「に～よん参考書」を活用して「若いうちから老後の備え」について住民向け講座や、専門職向け研修会等で多職種が連携して普及啓発しており、「に～よん参考書」についても適宜内容の見直し更新を行い活動を継続していることから、全ての項目に該当している。	
* 今後の取組み継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。		